

●協働学習 ■児童生徒発表型

実践タイトル 電子黒板に書き込み 拡大して発表

主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等とそのねらい

電子黒板

・生徒が自分たちの考えを発表し、説明する際に電子黒板を活用することで、よりわかりやすく自分たちの考えを他の生徒に伝えることができる。


静止画

・生徒が考えるために用意した資料をスキャナーで取り込み、同じ資料を電子黒板に表示することで、説明がしやすくなる。

参考にしてほしいポイント

・線を引いたり、拡大したりする電子黒板の機能を生徒が使いながら、自分たちの考えをわかりやすく発表しているところ。

本時の展開(主な学習活動)

学習の流れ(分)	主な学習活動	ICT機器・教材、コンテンツ等	
導入	0	<ul style="list-style-type: none"> 電子黒板にノボル君からの手紙と地図帳の世界のおもな都市の気候のデータを提示する。 手がかり①ノボル君からの手紙 	
	10		<p>世界のどこかにかくれているノボル君を、手がかりとなるノボル君からの手紙や気候に関する資料からさがす。</p>
展開	10	<ul style="list-style-type: none"> 手がかり②地図帳の気候のデータの一部 	
	20		<ul style="list-style-type: none"> 個人でノボル君の移動した都市と今いる都市を手がかりの資料から判断し、特定する（最初の都市、2日目の都市、今いる都市）。
	30		<ul style="list-style-type: none"> 小グループ（4人）になり、意見交流しながら都市を特定し、なぜそう考えたのか理由の説明も考える（写真1・2）。
まとめ	40	<ul style="list-style-type: none"> 発表の方法や、発表に必要な資料を考える。 グループで考えた結果を電子黒板を使いながら、発表する（写真3）。 	
	45		<ul style="list-style-type: none"> 発表した各グループの意見を比較しながら、全体で考えを深めていく。 教師が最後に正解の都市を理由も含めて発表し、評価する。

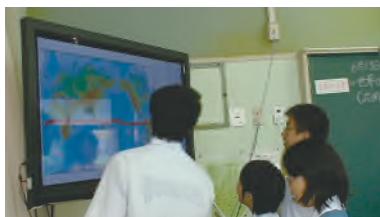


写真1：電子黒板を使って、グループの話し合い

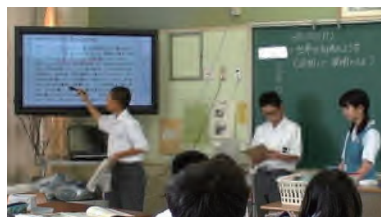


写真2：電子黒板に書き込みをしながら、発表

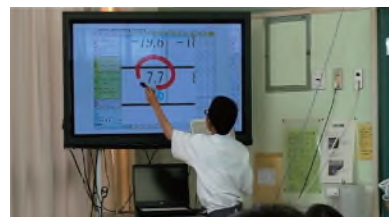


写真3：拡大機能を使って、わかりやすく提示

ICT活用への児童生徒の反応等

- ・生徒がグループで考えをまとめる際に、電子黒板を使い、大きな画面で資料と向き合うことでスムーズに話し合いができ、考えを深めることができた。
- ・生徒が自分たちの考えを伝えるために、電子黒板に書き込みをしたり、拡大機能などを使い、分かりやすく上手に説明ができ、表現力や説明力が高まった。

活用効果

評価の観点	・社会的な思考・判断・表現	具体的変容	・都市を正確に特定できるだけでなく、気候の特色と読み取った情報を関連付け、特定した理由を論理的に説明することができるようになった。
-------	---------------	-------	---

実践の手応え

- ・本実践は、世界の気候の特色を学習した後、既習事項を活用し、都市を特定する学習課題に取り組む内容である。生徒は「さがす」という活動に興味を持って楽しんで取り組んだ。考えをまとめる際に、電子黒板に資料を提示し、グループで資料に向き合いながら思考を深める場面もあった。大きな画面で資料を見て考えることで思いがけない発見や発想の転換があったりして、これまでになく意欲的な姿勢がみられた。また、発表の際には、電子黒板に提示した資料に線を引いたり、拡大機能を使ったりして自分たちの考えを分かりやすく表現しようとする積極的な姿が見られ、上手に説明することができた。何も使わず言葉だけで発表するより、発表者も聞き手も内容を、より深く理解することができて生徒の活気に満ちた授業になった。